

東京国税局管内納税貯蓄組合連合会 優秀賞

社会を支えているもの

柏市立中原中学校 第三学年 増井 泰

僕はこの作文を書くまで 税のことをあまり考えていませんでしたが、税について調べると、僕達の生活にとっても深く関わっていることを知りました。この作文では、衝撃を受けたことを挙げたいと思います。

僕が最も興味を持ったのは累進課税制度です。この制度は、課税対象となる金額が高くなるに従い税率が高くなります。対象になっているのは、所得税、相続税、贈与税の三つです。課税方法としては、単純累進課税と超過累進課税とがあり、現在の日本では、課税標準が一定額を超えた場合に超えた金額にだけ税率を適用させる超過累進課税制度のみです。給料の多い人や財産を蓄えている人が、より多く納税しなければならぬ不公平な税制度と思いましたが、そうではないことに僕は驚きました。税率を負担する人々の収入ごとに変えることで、税を負担する人々の公平性が守られることや、好景気の時には過度な消費による経済のインフレを防ぎ、不景気の時には収入が限られている人々の税の負担を減らすことで経済を安定させる役割があることです。累進課税制度は、単なる税金の仕組みを超えて、社会全体の安定と公平性を実現するための重要な制度であることが分かりました。次に興味を持ったのは、いくつかの不思議な税金があることです。例えば、地方税にある、ゴルフ場利用税や入湯税です。ゴルフ場や温泉施設は一般的に都心部ではなく、税収の少ない地域にあることが多いので、利用客から徴収します。市町村の一般財源とは別にして、ゴルフ場関連の様々な行政サービスの財源となったり、観光地の整備や地域振興に使われ温泉地の発展や保全に役立てられています。これらのような特定の目的のために、利用する人達から税金を徴収することは合理的だと思います。利用ではありませんが、購入者から徴収する税金に酒税とたばこ税があります。酒税は酒類が出荷される際に、酒類製造業者に課税されますが、酒類の小売価格には酒税分が上乗せされているので、消費者は購入時の消費税も併せて納めていることとなります。たばこの価格には、国たばこ税、地方たばこ税、たばこ特別税、消費税の四種類の税金が含まれていて、税負担率は六割にもなります。どちらも税収を確保することが目的ではありますが、酒税には、アルコール飲料業界の価格競争を抑えることや、酒類の価格を上げることで過度な飲酒を抑制し、国民の健康を守ることも目的としているようです。たばこについても、国民の健康被害を懸念して増税されているともいわれていますが、喫煙率は減少しているにも関わらず税収は安定しているという点には驚きました。

今回の学びは、国民の三大義務の一つである『納税』を意識するきっかけになりました。経済が安定し、治安が良く、日本という国が、安心して暮らせる国であり続けるために税金が使われることを心から願います。